

第1回 岡崎市緑の基本計画策定委員会 議事録

日 時：平成31年4月26日（金） 15時00分～17時00分

場 所：岡崎市役所東庁舎 2F 大会議室

出席者：

【検討委員】

今西委員長、松本副委員長、高取委員、近藤委員、中川委員

オブザーバー参加： 岩瀬氏、三矢氏

【事務局】

靱井都市整備部長

公園緑地課：横山次長、高橋副課長、河合主任主査、高橋主事

【委託業者】

(株)エイト日本技術開発：村山、北畠

議事内容は以下のとおり。

1. 開会

挨拶・資料確認（事務局）

2. 議事

計画改訂の内容について

【説明】

計画改定の目的

松本副委員長：

緑の定義の対象については市全体になるのでしょうか。

事務局：

岡崎市全体になります。都市計画区域外も含めすべての緑ということです。

今西委員長：

国や県の上位計画、関連計画がありますが、改定の時期はわかるのですが、これがいつからいつまでの期間の計画になっているのかを教えてください。

事務局：

愛知県の広域緑地計画ですけれども、2030年を目標年次とした計画になっております。2019年

から 2030 年度を計画の期間と定めております。

今西委員長：

岡崎市の第 7 次総合計画は策定中ですが、計画期間はいつからいつまででしょうか。

事務局：

調べてまたご連絡いたします。

松本副委員長：

先ほどのお話で対象として都市計画区域以外の範囲も含まれるということでしたので、当初から市の総合計画は含まれていますが、都市マスに適応してない区域がそれ以外で上位として位置づけられる計画はありませんか。農業振興・林業振興・中山間集落維持などの計画はどうでしょうか。

事務局：

関連計画としては他にも景観や森林といった計画がありますが、こちらに書いてありません。ただ、上位計画となると、それらも上位計画は総合計画が上位になります。景観計画、森林整備ビジョンなどまだここに記載していない関連計画とも整合を図っていきたいと考えております。

松本副委員長：

森林整備ビジョンは重要だと思うので、折を見て紹介いただければと思います。

額田地域の方だとわんパーク（水とみどりの森の駅）とか公園があります。別の計画で位置付けられているのでしょうか

事務局：

公園の様式はとっておりますが、実際に（都市）公園ではないものです。

松本副委員長：

言葉の定義はともかく、ああいった施設が上位計画でどのように位置付けられているかわからないので、そういうものがあれば紹介していただければと思います。県の広域緑地計画というのは、どんな内容ですか。概要を教えてください。

事務局：

県の広域緑地計画は、県内の緑地をどうしていくかという計画であり、なおかつ各自治体の（緑の）基本計画を定める上で参考となる、取り組みの方向性等が記載されています。当然ながら今後次の計画内容を進めていく上で県の広域緑地計画を踏まえて策定を進めてまいります。

松本副委員長：

これぐらいの（緑の）量を県全体として確保していきたいとか、そういった規模的な方針はない

のでしょうか。

事務局：

具体的な目標値に関しては、県として定量的な数字はでていません。たとえば、生物多様性に関する事項が記載されている緑の基本計画の数が何市町村あるという目標値はありますので、この県の広域緑地計画に沿っていくことになると思います。

今西委員長：

今の上位計画以外の関連計画というのは、緑は非常に幅広く捉えられるはずなので、関連計画というものは網羅して整理をしておいていただきたいです。

もう一点、国の状況はよくわかりますが、これを岡崎市に当てはめた場合を事務局で整理されておいた方がいいと思います。

【説明】

現行計画について

高取委員：

現行計画の達成状況に関しては、空間的な達成状況が見えてきません。どのような範囲で事業が実施されているか等、空間的な表現が必要かと思います。また、緑被地の状況について、市街化区域内に関してはもう少し精度の高い情報が欲しいところです。

事務局：

緑被地率については、まずは国土数値情報を国で定期的に更新されているので、それを活用して示させていただきました。ご指摘の通り、市街化区域の緑の分布につきましては、市の基盤データもございますのでそちらの方は今年度補足をさせていただきながらどちらが精度よく表現できるかということは検討させていただきたいと思います。緑に関係する各施策が面的にどう配置されているかなどに関しては、なるべくビジュアル的に図化してお示ししたいと思っております。

近藤委員：

緑被地に関して一括で割合を出しているが、将来的な構成としては施策面も含め、どのような緑地かという視点で分類できるとよい。具体的には森林と都市のみどりは分けて考えるべきで、計画においてどのような対応をとるかも違ってきます。都市の緑は人が関わって緑を作る面積を増やす、額田地域の森林や市街地近郊の二次林などは維持管理コストをかけずにどう保全していくか、都市における、植物に興味を持った人が関わりやすい公園管理を行うにはどうしたらいいか、ということを考えていきたいと思います。

今西委員長：

今回も変更計画に対してのいろんな目標達成等ができておりますけれども、市民の視点から何かご意見ございましたら。

中川委員：

現行計画の進捗状況の特徴として、市民参加の面でそういった場を積極的に作っている一方、市民に届いていないという部分が感じられる。地域の人目に活動が触れる形でより良い PR をしていく必要がある。

今西委員長：

公園建設費、維持管理費のグラフはそれぞれピークがいつかわかりやすく示すと議論がしやすい。愛護会についても報償費の推移をデータとしているが、実際のところは組織率を上げていきたいわけで、求めるものが何かというグラフや表にしたほうがわかりやすい。

緑被地率、緑地率の把握にはそれなりのコストがかかるという面は理解できるが、個別の緑の状況をきちんと把握することは施策立案や計画推進に非常に重要。財政的な課題があればそれも含めて解決できるような仕組みを計画として考えていく必要があります。条例化するなど手段はあります。

松本副委員長

各施策のアクションプランの結果について、基本方針に対してどういう課題が残ったのか、というところを出しておく、次につなげることができると思う。

高取委員：

基本目標 5「緑を介して人と人がつながるまちづくり」において他より△評価が多くなっている現状をどう次につなげていくかが極めて重要だと思います。園芸だけでなく、たとえば緑地管理、二次林管理など多様な緑への潜在的なニーズがあったとしても、どこに行けばいいかわからない。講習会だけでなく、たとえば各務原市のパークレンジャー制度などを参考に、そういった活動の登録制度、ポータル窓口などの仕組みをどのようにするか、ということは今後議論していきたい。

今西委員長：

本日お越しいただいているオブザーバーのお二人からも、現行計画、目標の達成状況等について全体的な印象でもかまいませんので、一言ずつお話しいただければと思います。

岩瀬氏：

指定管理者の立場として、PR 不足の指摘は重く受け止めたいと思います。岡崎中央総合公園に素晴らしい自然があるということを、どう広めていくか、ということは非常に重要と考えている。

奥殿陣屋で近藤委員にも協力いただいている、ボランティアと協働での北欧風ガーデンづくり

など、講習会などを開催しながらボランティアの輪も広げていきたいと思っている。

三矢氏：

公園愛護運営会の立ち上げに数年関わってきた立場から、愛護運営会に関しては、中長期的なビジョンが必要だと考えている。それについて、課題の共有を行いたい。

1点目は、何のために愛護運営会を作るのか、原点を再確認する。未利用公園の活用、コスト的な部分の双方が市としてはあると思うが、コストの面と活用は分けて考える必要があります。

2点目は、愛護運営会の必要性を考える。必ずしも愛護運営会が必要な地域ばかりではない。地域の特性や状況、ほかの資源などとバランスをとっていく必要があります。

3点目は、従来の愛護会の維持すら困難な地域があるということ。高齢化に伴う担い手不足など地域の体力そのものが落ちている地区がある。こういった場所に対する対応として、地域住民に必ずしも限定しない、新たな担い手（外部のNPOなど）を見出していく必要があるのではないか、ということなどを条件として、議論を進めていけたらと思う。

【説明】

市民アンケートについて

今西委員長：

非常に母数の少ない中でのアンケート集計ですが、皆様ご意見ありますか。こちらはH30の実施ですが、現行計画は行われたのでしょうか。比較できるような過去のアンケートがあるとよいのですが。

事務局：

現行計画でアンケートをとりましたが、いわゆる市民アンケートではなく、公園での大規模イベント実施時に来園した市民に対して実施したアンケートの結果になります。今年度改めて無作為抽出の市民アンケートを実施して、指標的に使用することを考えております。

松本副委員長：

公園の役割のトップが「子供の遊び場」となっており、位置づけとしては少々意外だが、高齢者の意識による変化はあると思う。以前大学で、学生の好きな風景として挙げられるのが緑や水の風景のほか、公園が挙げられているのが印象に残っている。これは彼らが現在時使用しているのではなく、幼少期の心象風景として残っているもの。そういう存在価値はそのものもあると思う。

高取委員：

これからアンケートを実施するということで、今回は市内の公園をひっくるめて取られていると思うのですが、できればもう少し例えば総合公園だったらどの公園ですとか、街区公園レベルでもクロス集計できるような、できれば個別公園に対してどういうニーズがあるかですとかこれから計

画に生かせるような内容で取っていただければありがたいと思います。

【説明】

今後のスケジュールについて

3. 閉会

挨拶（事務局）

以上